



議会 ニュース



総務文教委員会

三木市・相生市を視察

2月8～9日

兵庫県三木市では、「DXの取り組み」と「デジタル窓口」について視察しました。利用者、市民の立場に寄り添って、庁舎内での滞留時間をいかに短縮し、負担軽減を図れるか工夫されています。本市においても、転入・転出を始め、幅広い分野でできることから早急に各種申請手続のデジタル化を行うべきと感じました。

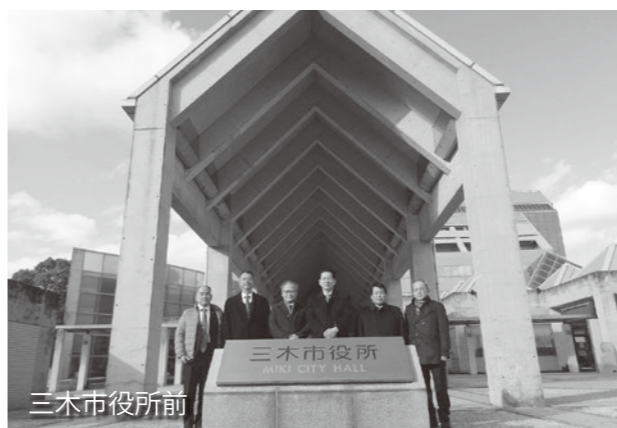
次に兵庫県相生市では、「あいおい暮らしやすい11の鍵」と「学校給食の無償化」について視察しました。子育て世代をターゲットに、市内外へのPR



草津川跡地の公園整備

拡幅工事などが行われていまます。草津川の例をそのまま高梁川には当てはめませんが、これからしゅんせつ土砂の活用により、新たな土地が生まれてくれば、宅地や公園、または工業用地として活用するのか、判断する時は必ず来ると思われます。「草津川跡地整備事業」の視察では河川の跡地を公園として利用するにあたっての市民の参画方法、公園の指定管理の在り方についても説明を受け、学びの多い視察になりました。

をしつかり展開されていました。ベビーファースト宣言をした本市としても各種施策の内容について今一度周知徹底を図り、市内外での認知度を向上させていくことが急務であると考えます。



三木市役所前

市民生活委員会

三好市・高知市を視察

2月6～7日



彦根城

徳島県三好市では「移住・定住促進の取り組みについて」視察を行いました。三好市は本市とよく似た環境です。人口は23927人で、本市と同様に過疎化が進行しています。新たな担い手の確保を目指し、さまざまな人材誘致策を講じています。移住定住ではお試し住宅4棟を提供し移住体験が可能です。さらに空き家バンクや地域交流施設「真鍋屋」を移住相談窓口としており、一定の効果を上げています。

産業経済委員会

彦根市・草津市を視察

2月13～14日

滋賀県彦根市及び草津市の管外行政視察を実施しました。

彦根市では「ひこにゃん」を全面的に打ち出した観光戦略と彦根城登城者をいかに城下町へ還流させるかなどについて視察研修を行いました。交通の便が良く年間30万人の登城者を数える彦根城でも宿泊客の獲得と城下町への観光客の誘導が大きな課題であり、宿泊施設の充実が苦慮しているようです。本市においては古民家を再生して宿泊施設の充実を図り、猫城主「さんじゅーろー」についても、ふるさと納税の品目に加える取り組みなどのヒントを頂いた視察になりました。

草津市では草津川付け替え工事によって生まれた跡地の整備を視察しました。高梁川では現在、堆積土砂の撤去、河原の

川上修一議員が岡山地方裁判所から罰金50万円の判決を言い渡されたことについて

令和5年3月28日、本市議会の川上修一議員は、銃刀法違反罪などに問われた裁判において、岡山地方裁判所から罰金50万円の判決を言い渡されました。市民全体の代表者たる議員がこのような判決を受けたことは、市民からの信頼を失墜させ本市議会の名誉と品位を著しく損なうものであり誠に遺憾であります。本市議会としては、今回の事件を大変重く受け止め、信頼回復と政治倫理の確立に努めていくことをお誓いするともに、今後取るべき対応を協議してまいります。皆様には、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

高梁市議会議長 石田芳生

議員研修会

行財政改革の 取り組みを学ぶ

令和5年2月3日委員会室にて高梁市議会議員研修会を行いました。

平成30年3月に策定した「高梁市行財政改革プラン」は将来の人口減少を見据えた行財政基盤を確立させるために、行政運営改革、財政構造改革、行政サービス改革を実施していくものです。

今回は総務部理財課より「高梁市行財政改革プラン」の中から以下の3点について説明を受けました。

- ・行政評価制度の確立・実施について(市民サービスを供給するための事業点検)
- ・公共施設の見直しについて(公共施設の今後の方向性、統合、譲渡、廃止を含めて)
- ・定員(職員)管理の適正化について(人口、面積を含めての適正な職員数)



高知市での研修の様子

高知市においては「飼い主のいない猫対策について」視察を行いました。高知市は四国では最初に中核都市に移行しました。飼い猫の不妊手術費用の補助、さらに補助対象を野良猫にも拡大して、補助額を増額。現在は野良猫のみを対象としています。生活環境被害を減らすため地域猫活動の助成事業も開始されました。「野良猫対策」と「地域環境問題」の2つの面から野良猫の問題を捉え問題解決に取り組んでいます。令和3年度には野良猫の数が15%に激減する効果を挙げています。